

## 岩の中で保存された貝化石

奈留島の海沿いの道に沿って、尖った岩の一部が約 45 度の角度で地面から突き出ています。知識がなくても、様々な種類の岩が層を成していることが見て取れます。しかし最も興味を引くのは、これらの岩石に一部が埋まった貝化石です。貝化石は、この場所が五島市により天然記念物に指定された理由でもあります。

## 岩に閉じ込められた貝殻

上部にも側面にも、岩の表面にはところどころに貝が埋まっています。海岸で見かけるものと同じ種類です。小型の巻き貝や二枚貝が多く、大型の二枚貝はわずかです。岩に埋まった貝化石が見つかること自体が珍しいですが、この化石は淡水貝の痕跡であるという特徴を持っています。

淡水貝の化石が存在するという事実は、岩の層を形成した土砂の層が、過去のある時点で淡水に沈んでいたことを意味します。同様の貝化石は五島列島だけでなく、ここから近い長崎県北部でも見つかっています。

これを受け、科学者たちはこの地を形成した土砂の層が、過去に約 100km 規模の淡水湖または淡水川の浅瀬に沈んでいたという説を唱えています。